

平成22年度 部長重点目標 (建設部長)

基本目標

- ① 事業の推進にあたっては、市民の目線にたち、住んでよし訪れてよしのまちづくりを推進します。
- ② 美しい景観、緑豊かな空間を生かしたまちづくりを市民と協働で推進します。
- ③ 目標の共有化を図り、職員が一丸となって重点目標の達成に取り組めます。



建設部長
高橋 邦洋

重点目標

市長マニフェスト関連事業

| 事業名称 | 緑の基本計画推進事業 | | |
|--------|--|------|-------|
| 事業内容 | 緑の基本計画とは、本市における緑豊かなまちづくりを進めるための指針となるもので、本計画に沿った緑の保全・創出に努める各種施策や事業への展開を推進していくものです。 | | |
| 目標 | 景観計画にも考慮しつつ、新たな街区公園用地の取得やグリーンバンク事業(緑のリサイクル事業)の実施等により、市民と協働で緑の基本計画を進めます。平成23年度までに、約1万1千㎡の公園を計画的に整備するなか、22年度は1万㎡の整備完了を目指します。 | | |
| 効果 | 美しい景観、緑豊かな空間を生かしたまちづくりを市民と協働で進めることで、緑の大切さを啓発でき、市民の緑に対する理解が得られます。 | | |
| 全体計画額 | — 千円 | 担当課 | 公園緑地課 |
| H22予算額 | 20,000千円 | 担当課長 | 上村雅樹 |
| 事業名称 | 亀川駅周辺整備(人にやさしい)に要する経費 | | |
| 事業内容 | JR亀川駅の東西広場を整備し、その広場を結ぶ東西自由通路を新設しバス等の交通拠点整備を行います。 事業実施機関は平成17年度～平成23年度を予定しており、平成22年度には東西自由通路の新設及び西口広場の整備完成を目指します。 | | |
| 目標 | 市民や障がい者、高齢者の方々など利用者のニーズを踏まえた交通バリアフリー構想の事業として位置づけされており、自由通路及び西口広場整備は平成22年度、東口駅前広場は平成23年完成を目指します。 | | |
| 効果 | 亀川駅の東西を結ぶ自由通路の完成により、福祉や文教施設などが集中している亀川地域における住民の安全かつ快適な移動環境の整備が図られます。 | | |
| 全体計画額 | 1,000,000千円 | 担当課 | 道路河川課 |
| H22予算額 | 340,000千円 | 担当課長 | 糸永 好弘 |

| | | | |
|--------|--|------|-------|
| 事業名称 | あんしん歩行エリア整備事業(石垣地区及び別府駅周辺) | | |
| 事業内容 | 市内でも事故発生割合の高い石垣地区及び別府駅周辺をあんしん歩行エリアと指定し、交通弱者にやさしい道路環境整備を実施します。事業実施期間は平成18年度～平成24年度を予定しており、平成22年度には路側帯のカラー化、イメージハンプの設置、高視認性区画線の設置等を行います。 | | |
| 目標 | 平成22年度にはエリア内で路側帯のカラー化、イメージハンプの設置、高視認性区画線の設置等を行い平成24年度までに対策実施地区における、歩行者・自転車死傷事故件数の2割削減を目指します。 | | |
| 効果 | 生活道路における歩行者・自転車・自動車に対する交通安全施設が充実して、子供や高齢者の方々が安心して通行できる道路環境を整備し交通安全が図れます。 | | |
| 全体計画額 | 260,000千円 | 担当課 | 道路河川課 |
| H22予算額 | 37,000千円 | 担当課長 | 糸永 好弘 |

主要事業

| | | | |
|--------|---|------|-------|
| 事業名称 | 海岸整備に要する経費(石垣地区背後地埋立造成事業) | | |
| 事業内容 | 上人ヶ浜公園前面において、別府観光の発展に必要な不定期観光船の着岸施設の築造と近々発生すると予測されている「東南海、南海地震」等の大規模震災時の緊急物資の搬入拠点として、国土交通省、大分県とともに広さ約4.9haの第4埠頭の造成を行います。 | | |
| 目標 | 今年度が埠頭整備の最終年度で、国土交通省は昨年度耐震強化岸壁の整備を終了しており今年度から沖防波堤を、大分県は埠頭用地、緑地用地及び臨港道路を、別府市は約2haの港湾交流拠点用地の整備を行い、平成23年3月の完成を目指します。 | | |
| 効果 | 通常時は、広く市民に開放して、背後の上人ヶ浜公園との一体的利用により、スポーツやイベント広場として、さらに市民や観光客の憩いの場として、また、大規模震災時等の緊急時には、海上輸送による緊急物資の搬入拠点、並びに市民や観光客の避難場所として重要な役割を果たします。 | | |
| 全体計画額 | 265,000千円 | 担当課 | 都市政策課 |
| H22予算額 | 82,946千円 | 担当課長 | 福田 茂 |

| | | | |
|--------|--|------|-------|
| 事業名称 | 山田川雨水幹線整備工事(雨水渠に要する経費) | | |
| 事業内容 | 平成9年の台風による浸水被害以降地元からの強い要望に基づき、朝見1丁目から浜脇3丁目の間を流れる山田川の一部を普通河川から取外し、公共下水道の雨水幹線として事業認可を受け、浸水対策工事を行います。 | | |
| 目標 | 整備工事を平成23年度～平成27年度の5ヶ年間とし、市道内にボックスカルバートを布設し山田川のバイパス工事を完成させます。 平成22年度事業の目標としては測量及び実施設計の作成を完了します。 | | |
| 効果 | 台風及び豪雨における浸水等の災害が軽減され、安全な環境づくりができます。 | | |
| 全体計画額 | 200,000千円 | 担当課 | 道路河川課 |
| H22予算額 | 7,000千円 | 担当課長 | 糸永 好弘 |

| | | | |
|--------|---|------|-------|
| 事業名称 | 別府公園整備(交付金事業)に要する経費 | | |
| 事業内容 | 地域活性化・きめ細かな臨時交付金を活用して、災害時一時避難所として指定されている別府公園に新たに便所を建設します。 | | |
| 目標 | 現在便所が設置されていない公園南側入り口付近に新たに便所を22年度中に設置します。 | | |
| 効果 | まつりやイベント、遠足等、公園の利用方法が多様化され、公園利用者に対する利便性の向上が図られます。 | | |
| 全体計画額 | 39,000千円 | 担当課 | 公園緑地課 |
| H22予算額 | 39,000千円 | 担当課長 | 上村雅樹 |

| | | | |
|--------|--|------|-------|
| 事業名称 | 公営西別府住宅C棟新築工事 | | |
| 事業内容 | 旧西別府住宅は、昭和40年代当初に建設され老朽化していることから、平成20年度より建替え事業に取り組んできました。今年度、西別府住宅最後の棟となりますC棟の建設事業を計画しています。 | | |
| 目標 | 西別府住宅C棟は、平成22年度、23年度の2ヶ年事業として建設する計画で、今年度工事着工を目指します。建設戸数としては、一般世帯向け住宅33戸、高齢者向け住宅等13戸、車椅子専用住宅3戸の計49戸を建設します。なお、高齢者向け住宅等及び車椅子専用住宅には、緊急通報システム等を設置します。 | | |
| 効果 | 西別府住宅は、温泉と広場を絆に団地内のコミュニティが育ち、様々な世代の人々がお互いに助け合い、高齢者や障がい者の方々にも優しい住宅として、地域に開かれた住宅団地となります。 | | |
| 全体計画額 | 749,450千円 | 担当課 | 建築住宅課 |
| H22予算額 | 187,852千円 | 担当課長 | 末吉 正明 |

| | | | |
|--------|--|------|-------|
| 事業名称 | 水洗化普及事業 | | |
| 事業内容 | 生活環境の改善や施設の利用効率を高めるためにも、水洗便所改造資金貸付制度による費用負担の軽減を図りながら、未接続世帯を解消し、公共下水道への接続の促進に努めます。 | | |
| 目標 | 22年3月末現在の公共下水道への接続率は、85.7%となっており、未接続世帯に対して、下水道事業の必要性や理解を求めながら、より一層の接続率の向上を図ります。 | | |
| 効果 | 生活排水の排除により生活環境の改善を図り、海や川などの公共用水域の水質が保全されるなど衛生的で快適な暮らしができるまちとなります。また、公共下水道へ接続することにより、使用料収入による財源の確保にもつながり、下水道経営の健全化が図られます。 | | |
| 全体計画額 | — 千円 | 担当課 | 下水道課 |
| H22予算額 | 12,846千円 | 担当課長 | 河野 貞祐 |